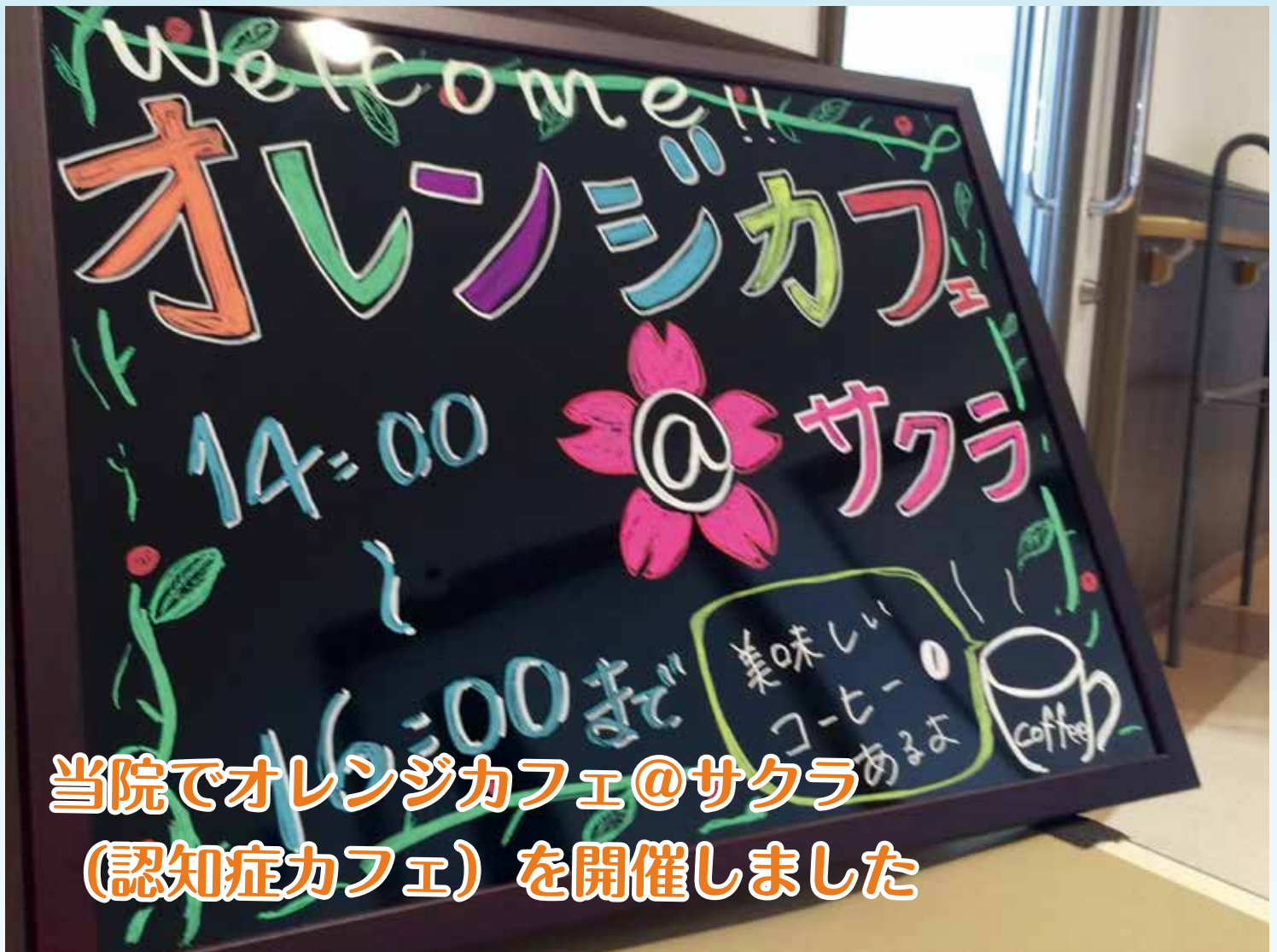


さくら通信



当院でオレンジカフェ@サクラ (認知症カフェ) を開催しました

病院理念

地域から信頼される、思いやりと礼節のある、患者さん中心の医療の実践

基本方針

- 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
- 医療の質と安全の向上に努めます。
- 24 時間体制の救急医療を実践します。
- 丁寧な説明と同意に基づく医療を実践します。
- 連携と協力により、地域に開かれた医療を提供します。

目次 ~ Contents ~

*平成28年度 優良職員表彰	P1
*看護部長より~30年を振り返って	P1
*勤続10年表彰者の紹介	P2
*平成28年度 新入職員紹介 ~第1弾~	P3
*第31回 日本静脈経腸栄養学会での発表	P4
*平成28年度 第1回ふれあい健康教室	P4
*オレンジカフェ(認知症カフェ)@サクラ	P5
*近隣事業所の紹介	P6

平成 28 年度 優良職員表彰

4月10日、大宮ソニックシティで「平成28年度上尾中央医科グループ（AMG）キックオフ大会」が行われました。

AMGキックオフ大会は、グループ内全27病院・20施設・他多くの関連事業所職員が集まり、優良職員の表彰や日ごろの研究成果を発表する場です。

今回、勤続30年および10年表彰として、以下のスタッフが表彰されました。



看護部長より ～ 30年を振り返って

昭和57年新潟の高校卒業後、上尾中央医科グループに入職、今の桜ヶ丘中央病院に配属が決まり、神奈川県大和市の桜ヶ丘に始めてきたときのことは今でも記憶にあります。

静かな田舎町で育った私は、駅に降りた際、すごい大きな音を出し飛んでいた飛行機に驚き、今にも墜落すると思われるような騒音が、夜も響くような環境でした。大和に厚木基地があることを知り、親元を離れまったく違う環境で社会人一年目がスタート。本当に自分は看護師の資格が取れるのか不安になる毎日でした。

資格を取得することは、つらいこともたくさんありましたが、つらいとき支えてくれた同期6人との出会いは、苦楽をともに、一緒に頑張り看護師の資格を取得することができた最高の仲間だと思います。

それから30年、結婚、出産、子育てをし、仕事と家庭の両立は大変でしたが、退職を考えたことは一度もなかったように思います。なぜなら、両立しながら働ける暖かい環境が桜ヶ丘中央病院にはあったからです。

そして、平成24年に部長職になり、不安や戸惑いながらも、これまで長きに渡り勤務できたのは、つらいときも支えてくれた同期だけではなく、院長、先輩、そして家族の支えがあったからだ感謝の気持ちでいっぱいです。

今年4月に永年勤続30年の表彰を受け、あらためて30年を振り返ると、とても幸せだったと思います。

今は、若いころに比べ体力、気力、精神力など、自信をなくすこともありますが、部長職になり、これから自分ができることは、10年、20年、30年と長く働ける職場がある幸せを伝えていくことだと思います。そして、看護師のすばらしさ、看護の道を選んだ喜びを感じてもらえるよう一人ひとりに向き合っていきたいと思います。



～勤続30年表彰～
看護部長 浅野茂子

病院が新しくなり今年で4年目に入りました。今までの出会いに感謝し、これから先も働けることに感謝の気持ちを忘れず、患者様・ご家族に寄り添い思いやりのある看護ができるよう努力していきたいです。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

勤続 10 年表彰者の紹介



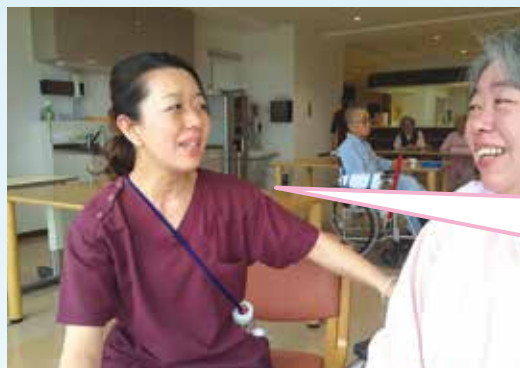
リハビリテーション科 理学療法士 係長 金田 拓人
 (入院部門統括/地域連携課広報担当)
 「桜ヶ丘中央病院リハビリテーション科をもっと知ってもらう
 ためにがんばります。」



看護師 (6病棟所属) 今野 恵理
 「患者様の自立支援を後押し
 できたらと考えています」



介護福祉士 (6病棟所属) 中川 忠俊
 「気づいたら10年経ってました・・・」



看護師 (6病棟所属) 中村 紀子
 「患者様からの“ありがとう”という一言で、
 ここまでがんばることができました」



リハビリテーション科
 理学療法士
 主任 大部 愛
 (5階回復期病棟担当)
 「これからもがんば
 ります！」



リハビリテーション科 理学療法士 主任 青木 淳
 (一般・障害病棟/がんリハビリテーション担当)
 「地域でお会いできるのを楽しみにしています。」

平成 28 年度 新入職員紹介 ～第 1 弾～

今年も、全部で 32 名の新しい職員が桜ヶ丘中央病院の仲間入りをしました。今回は、AMG キックオフ大会に参加した職員の中で、4 名の新入職員を紹介します。



【職種】リハビリテーション科 理学療法士

【名前】長谷川 瑞樹（はせがわ みずき）【出身地】静岡県藤枝市

【学会に参加した感想】

優良職員表彰では、非常に多くの職員の方々が表彰されており驚いた。このような方々が多くいらっしゃることは、とても誇らしいことだと感じた。自分もあのような場で「表彰されたい!」「発表したい!」と思える大会であった。

【今後に向けての豊富】

社会人として、医療人として、理学療法士として、恥ずかしくないマナー、礼儀を身に付け、スペシャリストとしての知識・技術を学び、良いスタートを切りたい。

【職種】リハビリテーション科 作業療法士

【名前】名古屋 愛子（なごや あいこ）【出身地】神奈川県相模原市

【学会に参加した感想】

それぞれの病院・施設が抱える問題とその解決策について話を聞くことができ、とても刺激になりました。

【今後に向けての豊富】

今後、何か問題に直面しても、解決に向けてあきらめず取り組んでいきたいと思います。



【職種】リハビリテーション科 言語聴覚士

【名前】菅原 友樹（すがわら ゆうき）【出身地】神奈川県海老名市

【学会に参加した感想】

型にはまらず自分たちに何ができるのかを考えることで、患者様や利用者様、そしてご家族様のニーズに幅広く対応することが可能であると学ぶことができました。社会が求めることを柔軟に取り入れることで、AMG のより良い発展を望めると感じました。

【今後に向けての豊富】

少しでも早く業務に慣れ、より良い医療を提供できるよう行動し、患者様と AMG に貢献していきたいと思います。



【職種】薬剤師

【名前】深田 充知（ふかだ みち）【出身地】東京都町田市

【学会に参加した感想】

大学生のころは薬学系の発表ばかりだったので、さまざまな分野の発表があり、とても興味深かったです。

【今後に向けての豊富】

今は覚えることが多いので、なるべく早く仕事を覚えて、他の多くのことも一緒に考えてたくさん勉強していきたいと思います。



第31回日本静脈経腸栄養学会での発表

平成28年2月25・26日に行われた第31回日本静脈経腸栄養学会にてNST（栄養サポートチーム）活動について発表を行いました。

栄養サポートチームとは医師・看護師・薬剤師・栄養士などの多職種で栄養面から患者さんの治療のサポートを行うチームです。

食欲低下や手術によって栄養状態が悪化してしまう危険のある患者さんを対象に、食事や食形態の変更や点滴による不足栄養素の投与、リハビリによる嚥下機能、運動機能の向上を目的に活動しています。



今回の学会では、患者さん一人一人に必要な栄養量と、実際に患者さんが摂取出来ている栄養量の比較、改善の程度をまとめ発表してきました。

栄養サポートを始めたときに、十分な栄養を摂れていなかった患者さんも、チームで関わる事で必要な栄養を摂取できるようになり、栄養状態改善に繋がっている事が確認できました。今後は早期に患者さんの必要栄養量を満たす事で、より早く栄養状態を改善していきたいと考えます。

栄養サポートチームでは毎週火曜日に回診を行っています。栄養面で不安や心配がありましたら看護師や栄養士まで声をかけてください。



左から、薬剤科の三苫薫梨、
栄養科の滝沢紋子・森谷玲子

平成28年度 第1回ふれあい健康教室

4月23日、第1回目のふれあい健康教室を行いました。テーマは「いろいろあります関節痛」。

当院のリハビリテーション科理学療法士、小野雅之による講話でした。

膝や肩などのさまざまな関節痛についての説明に対し、30名の参加者は自身の関節痛の体験について質問をする。また、関節痛を予防する体操を指導するなど、活気のある健康教室となりました。



理学療法士の小野雅之が講話中

今後の予定は以下の通りです。多くの方々のご参加をお待ちしています。

- 7月23日 「介護保険制度を知ろう」 地域連携課 萩原野生
「お薬について」 薬剤科 織田雄一郎
- 8月27日 「骨粗しょう症」 栄養科 森谷玲子
「リハビリと栄養」 言語聴覚士 本間由華
- 9月24日 「予防接種について」 健康管理課 為貝勇人



1階外来待合室に30名が集まりました

オレンジカフェ（認知症カフェ）@サクラ

認知症カフェとは、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のために、認知症の方とそのご家族、地域に住む方、子どもたち、医療・介護・福祉関係者など、誰もが参加でき、認知症についての理解を深める場です。

5月7日(土)、当院で初めての認知症カフェ、「オレンジカフェ@サクラ」を開催しました。



1階正面玄関にウェルカムボードを準備



理学療法士の川越・渡井が挽きたてコーヒーを提供しています

当日は、スタッフによる挽きたてコーヒーの提供や、「認知症カフェとは?」「認知症予防に効果のある運動」などのチラシ、個別相談などが行われました。

”カフェ”という名の意味する通り、「認知症カフェ」は勉強会や研修会を行う場ではありません。コーヒーを飲みながら、認知症に関する情報収集をしたり、「認知症って何?」っていう率直な疑問に対してスタッフが答えたり、当事者の方やそのご家族が実際に困っていることをお聞きして解決方法を探ったり、個別相談をしたり...

今後の開催予定は、7月2日、9月3日、11月5日、いずれも土曜日の14:00～16:00、桜ヶ丘中央病院の7階会議室で行います。参加費は無料、出入りは自由です。どなたでもお気軽にご参加ください。



地域の方々の交流の場でもあります



7階会議室で行いました

近隣事業所の紹介

地域で働く仲間を紹介します。今回は、『ピンポンデイハッピー渋谷』です。

事業所名：ピンポンデイハッピー渋谷

所在地：〒242-0024 大和市福田 5881-1

電話番号：046-283-6111 FAX：046-283-6112

施設概要：地域密着型通所介護施設

利用料金：基本料金 768 ～ 1,339 円

入浴料金 53 円

食事代 700 円

※1割負担、7時間利用の場合



特 色：おしゃれなカフェ風の雰囲気と卓球による機能訓練が特徴のデイサービスです。選べる昼食メニューやきめ細かい個別対応も特色です。

そ の 他：十人十色のハッピーのお手伝いをします。

1日定員 10 名、小規模ならではの小回りのきく対応が可能ですので、何でもご相談ください。



編集 後記

今回の『さくら通信』から、地域連携課広報担当が作成することになりました。「新入職員紹介」や、「地域で働く仲間の紹介」を新たな連載企画としました。『さくら通信』を通して、病院のことだけでなく、病院や地域でともに働く多くの仲間を紹介できたらと考えています。楽しみにしててください。これからも、『さくら通信』をよろしくお願いいたします。

発行責任

情報管理委員会

